

### H30 海外臨床実習

| 番号 | 氏名   | 渡航先    | 国・地域 | 渡航先での受入期間        |
|----|------|--------|------|------------------|
| 1  | M. K | 国立台湾大学 | 台湾   | H31/1/7-H31/1/25 |

平成 30 年度岸本国際交流奨学金による海外活動実施報告書  
(国立台湾大学・小児科)

医学部医学科 5 年

学籍番号：\*\*\*\*\*

氏名：M. K

- 実習期間：2019 年 1 月 7 日（月）～1 月 25 日（金）
- 実習場所：国立台湾大学・小児病院

➤ 活動の目的

国立台湾大学は台湾において最大規模の病院であり、重症患者や希少疾患に日々対応している病院です。以前国立台湾大学で研修行ったことのある同級生から、国立台湾大学では小児科・産婦人科専門の病院が建てられ、台湾全土の重症症例を受け持っているという話を聞き、かねてより興味を抱いていたものの実習でまだ回っていなかった小児科での実習を希望することにしました。

➤ 内容

初日のオリエンテーションの後、実習監督の Dr. Hui に実習先（病棟・ユニット）を提示され、希望を聞かれました。3 週間で 1 週間 1 病棟という形で選ぶように言われたため、私は一般病棟、NICU、PICU を選択しました。

私が最初に実習を行った一般病棟では主に感染症や自己免疫疾患の患者が入院しており、1 日 1 回感染症チームと自己免疫疾患チームによる回診が行われていました。ここでまず問題になったのは（3 週間にわたって度々苦勞する点なのですが）回診が基本的に全て中国語で行われることでした。もちろん私を受け持ってくれたレジデントの先生は最大限配慮してくださったのですが、その先生が多くの患者の説明を担当していたこともありどうしようもない場面も多くありました。そういう時は、現地の学生さんたちが代わる代わる説明したりカルテ（各々端末を持っていたので）を見せてくれたりととても親切にしてくれました。患者さんとの交流においても間に立ち、私が実際の患者と触れ合うことができるようにしてくれました。この学生さんたちとは、昼食や実習後の市街探索と一緒に出掛け、交流を深めることができました。なお、外来見学は可能でしたが、全て中国語で先生も大変忙しいため控えておきました。初診も多く受けているため医師 1 人あたりの患者数がとても多くなり、先生方は非常に忙しいそうです。

2 週目は NICU にて、主に低体重児・早産児などの管理を学びました。患者が新生児だということもあり近くで診察する際には細心の注意を払う必要がありましたが、臍ヘルニアや壊死性大腸炎など、非常に重篤な疾患の患者を間近で診ることができ、非常に勉強になりました。大動脈開存症や新生児呼吸窮迫症候群など比較的好くみられる病態も多く診

察することができました。

最終週は PICU で、結核・デュシャンヌ型筋ジストロフィー・重症心不全など幅広い疾患の診察・治療に携わりました。移植待機中の患者も数人おり、その管理や台湾の移植医療について様々なことを教わりました。

#### ➤ 成果

3つの病棟で実習を行うことで、軽症から最重症まで、幅広い疾患の患者を診ることができました。特に回診中のベッドサイドでの指導により、患者の診察から診断、鑑別までを自分で行うという一連のプロセスの訓練をすることができました。

先述した通り、回診や勉強会は基本的にすべて中国語で行われていたため苦勞することも多かったですが、それが先生方や現地学生たちの助けを借り、交流を深める要因になったように思います。国立台湾大学が日本の旧帝国大学の1つであることやその歴史について学ぶことができました。現地学生たちによると医療制度・保険制度も日本に類似している点が多いということで、日本の影響を色濃く受けていると説明してくれました。お互いに日本・台湾の医療の現状について話し、共通の問題について議論するなど、国際交流という観点でも非常に有意義な時間を過ごすことができたと思います。

また、国立台湾大学は多くの海外実習生を受け入れており、寮では多くの外国人学生（日本、ニュージーランド、オーストラリア、ドイツなど）と交流することができました。台湾の医療だけでなく欧米・オセアニアの医療についても知る機会となり、偶然ではありましたがとてもよい機会となりました。

#### ➤ 今後の抱負

本実習を通じて、私は小児科領域における知識や技術について学んだだけでなく、台湾の歴史や医療・福祉領域の現状について深く知り、現地での議論によって日本の医療の現状を考える機会を得ることができました。この経験を将来に活かすため、今後も研鑽を積みたいと思います。また、他の海外実習生との交流で欧米地域の医療にも興味を抱きました。機会があれば欧米にも足を運び、現地の医療を経験したいと思います。

#### ➤ 謝辞

この度、本実習を支援して下さった岸本先生および岸本国際交流奨学金制度に関わる先生方、本実習を整えて下さった医学部教育センターの和佐先生・河盛先生・西川先生とその他先生方、および実習でお世話になった国立台湾大学小児病院の先生方に深く御礼申し上げます。

## ➤ 実習スケジュール

[第1週：一般病棟]

1/7 Mon

9：00～12：00 オリエンテーション

13：00～15：00 病棟見学

1/8 Tue

8：00～9：00 症例検討

9：00～10：30 病棟見学

10：30～12：00 回診

14：00～15：30 病棟見学

1/9 Wed

8：00～9：00 症例検討

9：00～12：00 病棟見学

13：30～14：30 病棟見学

14：30～15：30 回診

1/10 Thu

8：00～9：00 症例検討

9：00～12：00 病棟見学

13：30～15：00 病棟見学

15：00～16：00 回診

1/11 Fri

8：00～9：00 症例検討

9：00～10：00 病棟見学

10：00～11：30 回診

11：30～12：30 学生発表（見学）

13：30～15：00 病棟見学

[第2週：NICU]

1/14 Mon

8：00～9：00 症例検討

9：00～10：30 回診

10：30～11：30 新生児検診

13：30～15：30 病棟見学

1/15 Tue

8：00～9：00 症例検討

9：00～12：00 回診

13 : 00 ~ 15 : 30 病棟見学

1/16 Wed

8 : 00 ~ 9 : 00 症例検討

9 : 00 ~ 10 : 00 病棟見学

10 : 00 ~ 12 : 30 回診

1/17 Thu

8 : 00 ~ 9 : 00 症例検討

9 : 00 ~ 10 : 30 病棟見学

10 : 30 ~ 13 : 00 回診

14 : 00 ~ 16 : 00 病棟見学

1/18 Fri

8 : 00 ~ 9 : 00 症例検討

9 : 00 ~ 10 : 00 病棟見学

10 : 00 ~ 13 : 00 回診

14 : 00 ~ 16 : 00 病棟見学

[第3週 : PICU]

1/21 Mon

8 : 00 ~ 9 : 00 症例検討

9 : 00 ~ 11 : 30 病棟見学

12 : 30 ~ 13 : 30 勉強会 (新生児呼吸管理)

13 : 30 ~ 14 : 30 回診

14 : 30 ~ 16 : 00 病棟見学

1/22 Tue

7 : 30 ~ 8 : 30 回診

8 : 30 ~ 9 : 30 症例検討

9 : 30 ~ 11 : 30 病棟見学

13 : 30 ~ 16 : 00 病棟見学

1/23 Wed

7 : 30 ~ 8 : 30 回診

8 : 30 ~ 11 : 00 病棟見学

11 : 00 ~ 13 : 00 Dr. Hui との昼食会

13 : 00 ~ 15 : 30 病棟見学

1/24 Thu

7 : 30 ~ 8 : 30 回診

8 : 30 ~ 9 : 00 症例検討

9 : 00 ~ 11 : 00 病棟見学

13 : 00 ~ 15 : 30 病棟見学

1/25 Fri

7 : 30 ~ 9 : 00 症例検討

9 : 00 ~ 11 : 30 病棟見学